

実践報告資料

研究テーマ『 多様な価値観を認め合える教育の推進 』

～ 自己理解・他者理解を深めるすべての教育活動 ～

研究内容【(1)、(2)、(3)、(4)】

学校名（ 丹波市立青垣中学校 ）

ア 人権教育としてのねらい

相手の立場に立って考え、多様な価値観を認め、自他ともに大切にできる生徒を育てる。

イ 研究の概要

- ・ SNS の正しい使い方を知り、加害者にも被害者にもならないよう、自他の人権を大切にする姿勢を育てる。
- ・ 身近な地域や社会の中で、様々な立場の人が大切にされて、みんなが幸せに暮らせるようにするために大切なことを、体験を通して考えさせる。(人権、SDGs、UD の視点から)
- ・ 授業や話し合い活動の中で、反応しながら相手の話を聴き、話法を使って対話し、多様な考え方や価値観を認め合う姿勢を育てる。

教科等	各教科（保健体育）	特別の教科 道徳	総合的な学習の時間	特別活動
指導者	保健体育科担当	1 年生担任	2 年生全教職員	3 年生全教職員
実施日	1 月 29 日	11 月 12 日	5 ～ 11 月	12 月 11 日
取組名	健康な生活と病気の予防（性感染症）	ネットにおける人権侵害	みんなが幸せに暮らせる社会を作ろう	今の自分たちをふり返り、ネットの使い方を考える。
目 標	エイズ及び性感染症の増加傾向と青少年の感染が社会問題になっていることから、それらの感染経路や誤った認識や偏見について理解できるようにする。	インターネット上での人権侵害の現状を知り、解決しなければならぬ現実の課題であることを実感し、責任ある行動をしようとする態度を育てる。	トライやるウィークの活動を通して、地域社会での SDGs や UD の取組を見つけ、誰もが大切にされる社会の在り方を考える。	池袋暴走事件に関する誹謗中傷事件をきっかけに日常生活をふり返り、人はなぜしてはいけないことをやってしまうのかを考える。
資料名	『きらめき』p24 (県教育委員会)	「京都国際高校、優勝」のニュース動画	『きらめき』p17, 18 (県教育委員会)	「池袋暴走事件に関する誹謗中傷事件」のニュース動画
指導内容や指導方法の工夫等	エイズがどのような病気なのかを知る。 エイズを予防するにはどのようにすればよいか考える。 エイズに対する誤った認識や偏見などに対してどのような行動ができるか話し合う。	映像等を利用し、自分の身の回りで現実には発生している問題であることを感じる。 社会には、時に人権侵害を含む意見があることに気づき、どう対処していくべきか話し合う。 小集団から大集団へ広げつつ、意見を発表し合うことで考えを深める。	事前学習で、SDGs や UD について学習する。 トライやる・ウィークで各事業所の SDGs や UD を意識した取組を見つけ、インタビューする。 事後の学習で、「誰もが大切にされる社会、幸せになる社会」にするために何が必要か考え、発表する。	池袋暴走事件と誹謗中傷事件についての映像を見せ、考えさせる。 これまでの学校生活をふり返り、自分たちと加害中学生の行動に一致する部分もあり、一歩間違えれば犯罪につながる事に気付かせる。 誤った行動を起こさないための解決策が日々の取組の中にあることを再認識させる。